

平成25年度 小学校からの教科専門性向上事業 実施報告書

教育委員会名

岐阜市教育委員会

1 学力向上チャレンジ校名・責任者氏名

ふりがな	ながらひがししょうがっこう	ふりがな	かとう ひさし
学校名	岐阜市立長良東小学校	校長氏名	加藤 壽志

2 取組内容

<p>(1) 組織・指導体制に関わる取組内容</p> <p>一層の児童の学習意欲の喚起と学力向上を目指して、以下のような教科の専門性を生かした取組を行っている。尚、本校では、職員の中学校免許の教科を「教科専門」ととらえている。</p> <p>①学年における「合同授業」(主に低学年において)</p> <p>第1学年体育 体育を専門とする教諭が中心となって指導をする合同体育</p> <p>第2学年音楽 音楽を専門とする教諭が中心となって指導をする学年音楽</p> <p>第3学年国語 国語を専門とする教諭が指導する学級と他の教諭の指導する学級との交流授業</p> <p>②算数における「少人数指導」(中学年において)</p> <p>3・4年生算数 数学を専門とする教諭が指導する少人数指導</p> <p>③専門性が高い教師が指導する「教科担任制授業」(主に高学年において)</p> <p>4年生社会 社会における「教科担任制授業」</p> <p>5年生 社会、理科、音楽、図画工作、家庭科、体育における教科担任制授業</p> <p>6年生 社会、理科、音楽(一部、東長良中学校教諭が指導)、図画工作、家庭科、体育における教科担任制授業</p> <p>4年生については、高学年からの教科担任制授業スタートに向けて、準備期間として行っている。</p> <p>時間割編成については、教務主任が行っている。</p>
<p>(2) 運営(組織・計画の運用)に関わる取組内容</p> <p>普段から時間を見つけて児童の交流を行っている。</p> <p>その他に、学年会の後に、引き続き「教科担任会議」を行い、指導の方向の共通理解や児童交流を行うこととしている。</p>
<p>(3) カリキュラム・指導方法等に関わる取組内容</p> <p>1年生体育、2年生音楽、3年生国語では、単元に応じて合同授業、交流授業を行うかどうかを判断している。低学年の児童は、関わりの深い教師との学習において、安心して学ぶことができるという発達の段階であるため、専門でない学級担任もT2、T3・・・として指導を行う。</p> <p>4・5・6年生の「教科担任制授業」では、基本的には、学年全学級を一人の教科担任が指導している。</p>
<p>(4) 教員研修に関わる取組内容</p> <p>教科の専門性を生かす授業では、教頭、教務、生徒指導主事、研究主任、中学校教諭等が授業を行うことで、学級担任に空き時間が生まれる。その時間を活用して、教材研究や他の授業を参観するなど、指導力向上に努めている。小学校教諭として、専門以外の指導力の向上を目指しているため、他教科の授業についても参観をし、指導の参考としている。</p>
<p>(5) その他</p> <p>学級担任以外の複数の教員の指導に慣れることで、中学校での教科担任制への適応を図る。また、東長良中学校の教諭が6年生の音楽を指導することで、中学校の指導への不安感をなくしていく。</p>

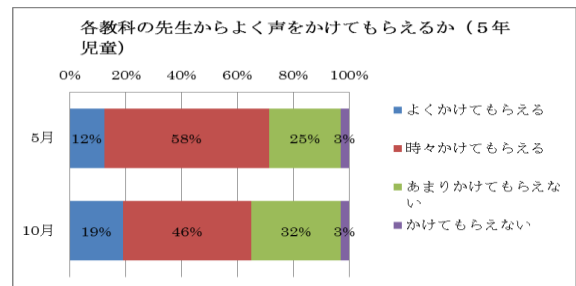
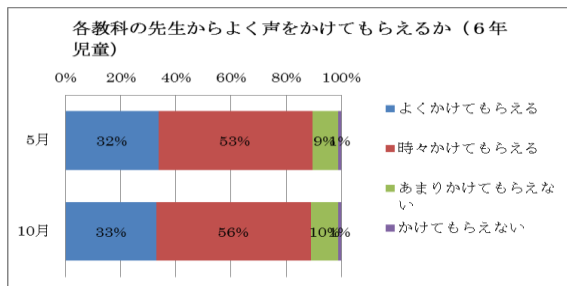
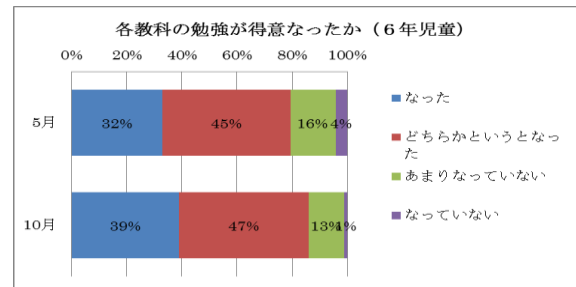
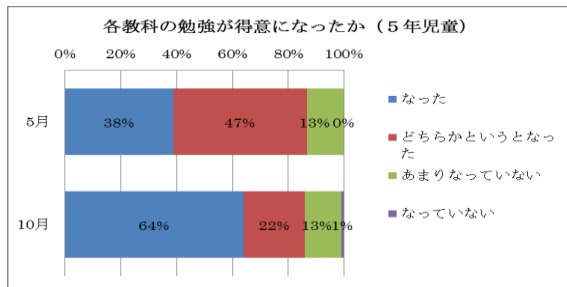
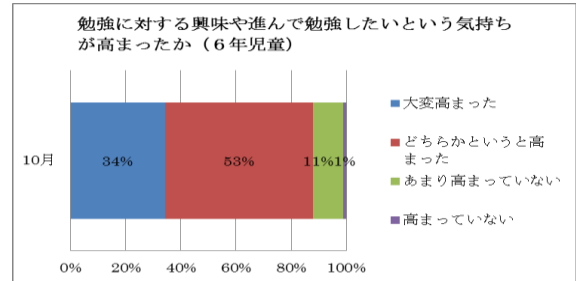
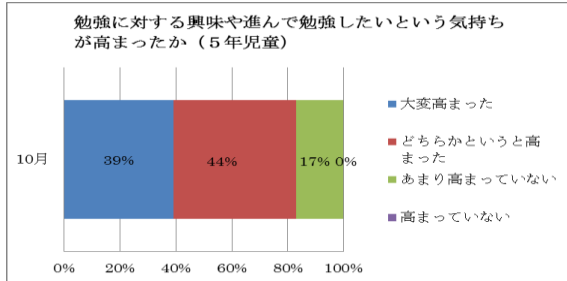
3 成果

(1) 児童の学習状況に関わる成果

5月と10月に教科担任制授業に対する児童アンケートをとった。その結果、下記のアンケート結果の通り、勉強に対する興味・関心が高まるとともに、各教科の勉強が得意になった児童が増えてきている。また、各教科からの先生からもよく声をかけてもらえるかという結果も高い評価であった。

社会、理科の単元テストでは、平均点の半分以上の点数の児童はいなくなった。

アンケート結果



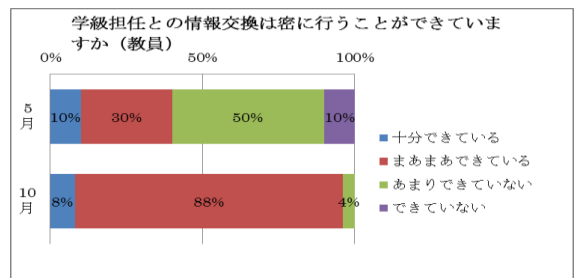
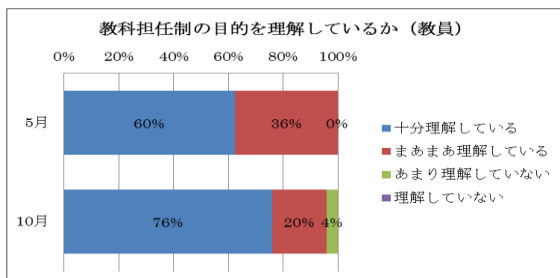
(2) 教員の意識等に関わる成果

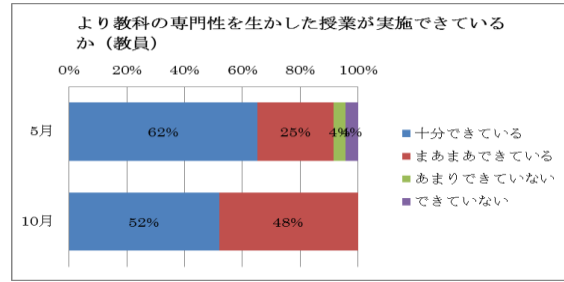
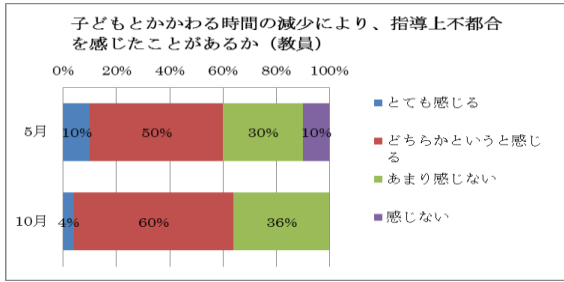
当初心配されていた、学級を離れる時間が多くなることについては、職員同士が自分の指導している時間の児童の様子を交流することで解消されている。また、自分の学級だけでなく、学年の担任としての意識が高まり、指導に生かすことができている。

他の教諭から、自分の学級の児童の様子を聞くことができ、児童の新たな一面が発見できるなど、個を多面的に見ることができるようになった。

授業者が1時間ごとに変わるので、45分で授業を終わるという意識が高まっている。

アンケート結果

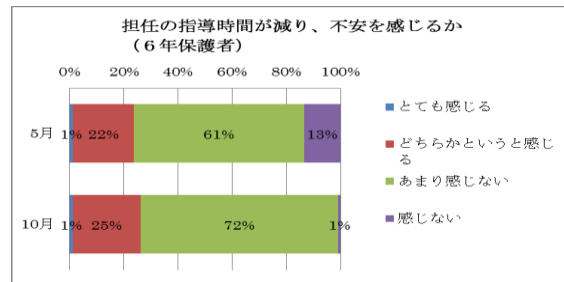
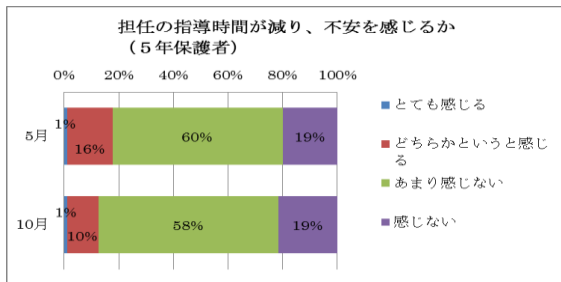
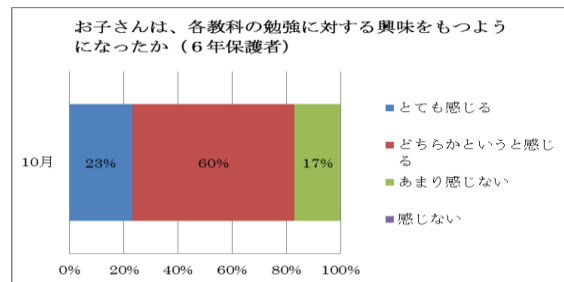
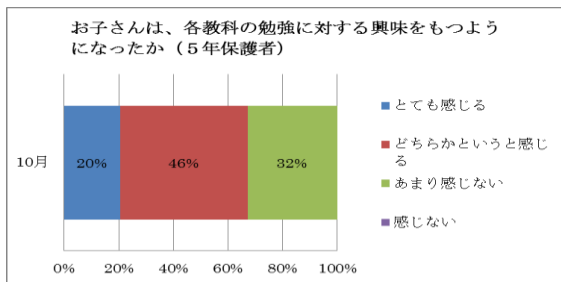
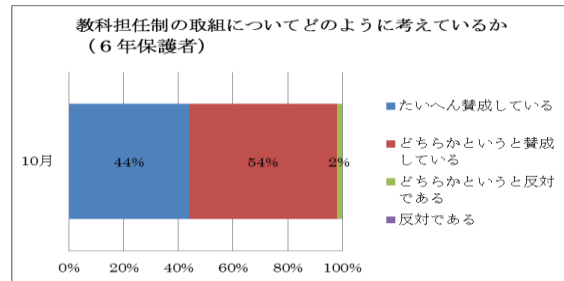
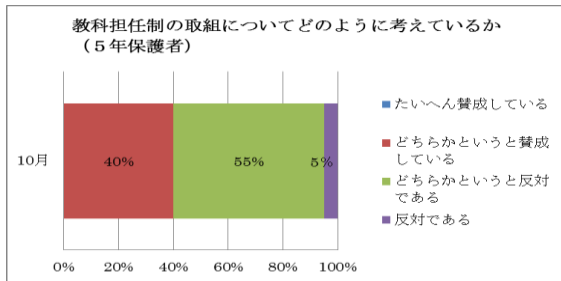




(3) 保護者の意識等に関わる成果

保護者アンケートから、教科担任制授業を推進することに賛成の保護者が多い。また、記述アンケートから、児童が家庭で教科担任制の授業について語っていることが分かった。内容は、「授業が楽しくなった。」「専門の先生は詳しく説明してくれるので分かりやすい。」という内容であり、児童の様子から保護者の意識も高まっていると捉えられる。

アンケート結果



4 次年度以降の見通し

「教師の都合ではなく、子どもに力を付けるためには何ができるか」という考え方のもと、長良東小学校にあった学力向上施策として、3つの取組（学年における「合同授業」、算数における「少人数指導」、専門性が高い教師が指導する「教科担任制授業」）を継続していく。特に少人数指導では学年を広げ、高学年でも行えるように検討していく。

また、本年度は基本的に国語・算数では教科担任制授業を行わないこととしていたが、来年度はその枠組みを外すこととする。実際の実施教科は、学年を構成する職員で工夫していくこととする。